

# 「日本屋外広告フォーラム」 沿 革

## ■「日本屋外広告フォーラム」の概要

「日本屋外広告フォーラム」とは、屋外広告業界の健全な発展及び振興に寄与すべく、屋外広告に関する調査方法、データ活用方法等について研究、開発、実験、業界標準化の検討を推進することを目的とする団体です。「業界標準の広告効果管理データ策定」を主目的とし、今後の業界発展の為に必要なデータ整備について広範な研究を行っています。業界標準の広告効果指標を策定することにより他媒体との効率比較、メディアミックスにおける効果検証が可能となり、屋外広告の活性化に寄与する活動をしています。

本フォーラムは、前述の目的を達成するために次の事業を行っています。

- (1) 屋外広告の媒体評価を行うための調査方法の研究、検討
- (2) 屋外広告の媒体評価を行うためのデータ活用方法の研究、検討
- (3) 屋外広告の媒体評価を業界標準化するための方策の研究、検討
- (4) 屋外広告の調査に関する情報の収集及び提供
- (5) 本フォーラムに関する広報活動
- (6) その他、本フォーラムの目的を達成するために必要な事業

本フォーラムはサーキュレーション・レベルの日本標準の指標「DEC」(Daily Effective Circulation = 1日の有効通行量)と、認知レベルの日本標準指標を策定し、「屋外広告指標推定システム」を日本で唯一管理しています。

## ■設立と活動の経緯

屋外広告効果に関する調査データについて、欧米ではすでに第三者機関によるデータ整備がなされ、科学的かつ公正でオープンな屋外広告取引が行われていました。日本における屋外広告の効果性研究は、欧米に比べ1999年までは進んでないという現状でありました。

1997(平9)年から1998年にかけて屋外広告の効果性・独自性について業界初の研究レポートを発表した「屋外広告効果調査委員会」(会長:小林太三郎早稲田大学名誉教授、主宰:関東ネオン業協同組合、調査実施機関:㈱ビデオリサーチ)が、一応の成果を納めたとして1999(平11)年春に解散しました。その後を受け、更に研究を進めるため「屋外広告調査フォーラム」を設立することになりました。

設立に向けての発起人は、小林太三郎早稲田大学名誉教授が当初進めていましたが、体調を崩したため委員の一人であった清水公一城西大学経営学部教授に委任。廣邊祐二全日本ネオン協会会長とともに設立に向け1999年8月に始動開始し、ビデオリサーチが事務局を受け持ち、大手代理店の入会意向のヒアリング等を行い、設立の準備に入りました。

1999年 9月22日 『屋外広告調査フォーラム』設立 (会長:小林太三郎、会長代行:清水公一)

2000年11月 米国視察

2001年 6月 「DEC(Daily Effective Circulations):1日の有効通行量」策定

7月 6日 日本広告主協会SP広告委員会に成果報告

2002年 都内主要地域(銀座21地点、新宿18地点、池袋14地点、渋谷32地点)の計算結果をDECシートにし、会員社に電子データ(CD-ROM)で配布。

2003年 6月11日 城西大学大学院ビジネスイノベーション研究会にて、㈱博報堂 DYメディアパートナーズ・清水伸夫氏(当

- 時フォーラム幹事)が、「アウトドア・メディアの現状と今後の課題」で講演。(於;相互永田町ビル)
- 10月17日 清水公一会長代行が、韓国屋外広告学会に招かれ韓日屋外広告効果測定セミナーにおいて、「日本屋外広告効果測定の現状と課題」と題して基調講演。
- 10月29日 城西大学大学院ビジネスイノベーション研究会にて、(株)ビデオリサーチ・小島雄二(当時フォーラム事務局長)が「各メディアのオーディエンス測定の現状と今後の課題」で、屋外広告と他メディアの測定の違いについて講演。(於;相互永田町ビル)
- 2004年11月 「広告主調査」および「米国屋外広告調査の状況調査」実施
- 2005年 2月16日 「屋外広告調査シンポジウム」開催 (於;銀座東武ホテル)
- 8月 9日 清水公一会長、札幌で講演「屋外広告の活性化と効果指標 国内標準指標DECの普及」(於;札幌ロイヤルホテル)
- 11月 首都高速道路3号線・4号線・5号線屋外広告MAP作成
- 2007年 3月 「屋外広告・研究セミナー」開催
- 2008年 5月 セミナー開催「クロスメディア時代の屋外広告の役割」(株)アサツーディ・ケイ 佐藤達郎氏)
- 2009年 欧米の屋外広告指標研究(認知レベル)
- 2010年 5月 「日本の屋外広告オーディエンス測定に関するガイドライン」案策定
- 2011年 5月11日 『屋外広告指標調査研究プロジェクト』を立ち上げ (認知レベルの調査研究を進める。)
- 歩行者向け繁華街ボードの視認率調査、媒体属性調査
- 2012年 媒体属性から推定視認率を算出できる「歩行者向け繁華街ボードの共通指標策定」
- 共通指標を搭載した屋外広告指標推定システムオープン(ビデオリサーチ所有システム)
- 屋外広告指標推定システムを通じて会員社に共通指標を提供
- ロードサイドボードの視認率調査、媒体属性調査、アイトラッキング調査、DEC研究
- 2013年 歩行者向け繁華街ボードの視認率調査、媒体属性調査、アイトラッキング調査
- ロードサイドDECの継続研究と成果物作成
- 2014年 5月21日 「屋外広告調査フォーラム」と「屋外広告指標調査研究プロジェクト」を一体化させ、『屋外広告調査フォーラム』設立。65社で組織する新体制で再出発。
- 媒体属性から推定視認率を算出できる「歩行者向け繁華街ボードの共通指標改定」
- ロードサイドDECを屋外広告指標推定システムに搭載
- 2016年 6月1日 「日本屋外広告フォーラム」に名称変更
- 2019年11月27日 「日本屋外広告フォーラム」20周年式典開催
- 2023年3月31日 清水会長 ご退任
- 2023年4月1日 石崎(新)会長 ご就任

・調査研究(抜粋)

- 2019年 調査研究「屋外広告効果クラスタ・街と屋外広告の相互作用」
- 2020年 調査研究「コロナ禍における生活行動・意識と屋外広告の見られ方について」
- 2021年 調査研究「00H長期出稿媒体の広告効果検証」
- 2022年 調査研究「屋外広告の1impの価値・街イメージと広告ターゲットの親和性」

■日本屋外広告フォーラム 事務局

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-10-5 (株)ビデオリサーチコミュニケーションズ 内

Mail : [okugai-forum@videor.co.jp](mailto:okugai-forum@videor.co.jp)

URL : <http://www.okugai-forum.jp/>